

1 市民意見公募の実施状況と結果について

(1) 公表した案

「立川市第6次農業振興計画素案」

(2) 案の公表場所

市ホームページ、農業振興課窓口、企画政策課窓口、立川市役所1階ロビー総合案内・3階市政情報コーナー、窓口サービスセンター、女性総合センター、子ども未来センター、たましんRISURUホール（市民会館）、連絡所、学習館、学習等供用施設、図書館

(3) 意見提出期間

令和7年4月1日～令和7年4月21日

(4) 結果

ア 提出者数 2名

郵送	ファックス	Eメール	HPフォーム	来所
0名	0名	0名	2名	0名

イ 意見の件数 6件

全体に関わるこ と	第1章 立川農業の現状 と課題	第2章 計画の性格と位 置づけ、期間	第3章 立川農業の基本 的指針	第4章 各施策の事業内 容について	第5章 計画の推進に向け て	資料編	その他
0件	0件	0件	0件	5件	0件	1件	0件

ウ 市の回答結果

意見を反映するもの	市の考え方を説明するもの	その他
1件	5件	0件

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに件数をカウントしています。

2 意見と市の考え方について

(1) 意見を反映するもの（1件）

整理番号	該当箇所	意見	市の考え方
1	資料編 P. 67	問い 12 のグラフの項目が、グラフに対して少なすぎる？ご確認お願いします。	資料編において、ご指摘をいただいたグラフも含め文字の欠落がありますので、全グラフを確認し表示を改めます。

(2) 市の考え方を説明するもの（5件）

整理番号	該当箇所	意見	市の考え方
1	P. 37 第4章 第2節立川印を活用した立川農業の魅力発信 (1) 市民と農がふれあう場づくり	2②について、我が家でも近隣保育園、自治会のお芋掘りを受け入れています。お互いに信頼関係を持てて長く続けてもらえることが前提ですが、リピーターとして毎年来てもらえるのは農家としてもありがたいです。	近隣の保育園、自治会のお芋掘りについて、受け入れをしていただきありがとうございます。ご意見いただいた通り、信頼関係を持って続けていくことは重要ですので、事業内容「近隣の小学校や保育園、自治会や企業等からの収穫体験等の依頼、小学校の社会科見学や中学生による農家での職場体験等の依頼を受け入れている農家を把握し情報提供を行います」については、職場体験等を依頼する側、受け入れる側のそれぞれの立場を踏まえたうえで、丁寧に情報提供を行ってまいります。

2	P. 37 第4章 第2節立川印を活用した立川農業の魅力発信 (1) 市民と農がふれあう場づくり	普段の農業、さらに花果野マルシェでもたくさんのご支援を頂きありがとうございます。 今後とも立川農業のご支援をよろしくお願いします。 そして非農家の市民の皆さんへ農業の周知を引き続き力を入れていただきたいと思います。 大人はもちろんですが、食育緑育など、子供のほうにより力を入れてほしいです。 小さいうちから農業は生活に直結していることを色々なタイミングで知らせていってほしいです。 私は他県の非農家から結婚を機に就農しましたが、大元のきっかけは小学校です。地元の市民科のような授業で、「地元農業のなり手が減って困っている」と教わり、やってみようと思ったことが今につながっています。	立川農業の周知にあたっては、市民のみなさんを対象に、SNS やマップ、アプリ等での情報発信を行ってまいります。 子どもを対象とした事業につきましては、引き続き、市民参加型イベントとして親子農業体験と収穫体験を実施するとともに、小学校での緑育・食育授業に取り組んでまいります。
3	P. 38 第4章 第2節立川印を活用した立川農業の魅力発信 (2) 立川農業の理解促進と情報発信	立川市の農業のブランディングを行う際、ぜひ愛知県豊橋市を参考にしてみてください。豊橋市は農業がとても盛んで、国道沿いの道の駅は、野菜を買い求める人で平日でも大賑わいでした。県外への発信も積極的に行い、自治体職員さんが市を紹介するプレゼンでは農業が盛んであることに触れています。大手スーパーとの連携も行っており、立川市内のとあるスーパーで「豊橋野菜コーナー」を見かけたほどです。こういった他自治体事例を参考にしつつ、立川の農業としての側面がより発信されることを願っています。	農業のブランディングは重要な視点と考えており、他自治体の事例を参考にしつつ、市内イベントや他自治体でのイベント等の場を生かして、立川農業の魅力についての情報発信、周知啓発を行ってまいります。

4	P. 40 第4章 第2節立川印を活用した立川農業の魅力発信 (3) 地産地消の拡大 2 農商連携を通して地産地消を推進	立川駅周辺だけではなく、立川駅の自由通路や改札内の空きスペース、モノレールの改札内外で農産物を販売するのは難しいのでしょうか？自由通路では様々なお店が出ているので、農産物直売として出店するのも面白いのではないかと思います。JR では「やまたまや」というイベントもやっていた記憶があるので、こういった連携も重要ではないかと思います。	立川駅やモノレール改札内での農産物の販売につきまして、立川産農産物の魅力を広める有効な方法と考えますので、出店の可能性を探るとともに、店舗を誰がどのように運営するかなど、検討してまいります。
5	P. 41 第4章 第3節都市農地の保全と多面的機能の周知啓発 (1) 都市農地の保全に向けた取組	農の風景育成地区は、最初が大変そうですが、取り入れてもらえたらと思います。 また農地保全のたぶん最大の障害となっている、相続税について。色々と農地保全のための制度が進み、ありがたいのですがもとの税制が変わらないと農地減少を止めるのはなかなか難しいように思います。引き続き国へ要望をお願いします。	農の風景育成地区は、農地保全の一つの方法と認識しており、他地域での取組事例を踏まえながら、どのように取り入れることができるか検討してまいります。 また、都市農地保全について、相続税が農地減少に大きな影響を与えている現状を踏まえ、引き続き農地保全につながるよう相続税の見直しの要望を国に行ってまいります。

(3) その他（参考意見として庁内で共有するもの）（0件）

整理番号	意見